

集会案内

日曜日

礼拝 : 1:45pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榑原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール : nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714) 234-4778

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「堀江謙一」

二〇二三年の三月、クルージング・クラブ・オブ・アメリカから、海洋冒険などで功績のあった人物を称える最高栄誉賞が堀江謙一さん(84)に贈られた。一九六二年に世界初のヨットによる単独無寄港の太平洋横断や、その後、数回にわたる世界一周を試みたことをはじめ、昨年、世界最高齢でヨットによる単独無寄港太平洋横断に成功したことで、今回のヨットマン最高栄誉賞となった。

以前、堀江さんのヨットによる太平洋横断の快挙を知って購入した彼の著書『世界一周ひとりぼっち』(勁文社・一九八四)を読んで、つくづく感心したことがある。一九七四年三月のことだ。朝食前の運動にと、マスト登りを試みた。先端まであと一メートルというところでローリング(横揺れ)が激しくなり、不覚にも落下してしまった。建物にすれば三階建ての高さで、もしデッキに落ちていたら、骨折はおろか命の危険すらあった。が、さいわいヨット左舷の海に落ちた。そこで艇尾から這い上がろうとしたが、手足がしびれていて力が入らない。中学生の時に器械体操をやっていた堀江さんは、国体の選手になれると本気で思っていたほど腕力には自信があった。だが、その時ばかりは艇尾に捕まっているだけで精一杯だった。二回目に失敗した時には、もう駄目かと思った。そこはサメが多い海域だ。一刻も早く上らないといけない。関西大第一高校ヨット部時代の苦しさを思い起こし、歯を食いしばって、死にもぐるいで三回目を試み、とうとう這い上がることができた。そうした生死を分けるような出来事に遭遇しても、堀江さんの海への情熱は消えることがなかった。

聖書にも堀江謙一さんのような快挙がある。パウロの信仰である。彼が現在のトルコ、当時小アジアのルステラという町で伝道していた時、ユダヤ人たちが来てパウロを石で打ち、人々は死んだと思って、彼を町の外に引きずり出した。「しかし、弟子たちがパウロを取り囲んでいる間に、彼は起きあがって町にはいつて行った」(使徒行伝一四・20)とある。だが、パウロは起き上がって再びルステラの町に戻って行って伝道したのだった。パウロは死ぬほどの目に遭った町に再び帰って行ったのだ。それはひとえに、一人でも多くの人々を救いたいという主イエスの救霊へのパッションに対するパウロの応答であった。

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榑原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。